

市長記者発表

関前地区高速インターネット回線開通等

スマートシティ今治の推進に係る記者発表

(市長発言内容)

- 1 関前地区（岡村島）高速インターネット回線開通
- 2 朝倉小学校区通学路の危険箇所の見える化
- 3 「今治でのひら市役所」利用開始
- 4 第2回モルックジャパンオープン開催)

令和5年10月3日

今治市長（徳永繁樹）の発言内容

本日は、マスコミ各社の皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

1 関前地区（岡村島）高速インターネット回線開通

このたび、関前地区に高速インターネット回線が開通し、光インターネットのサービス提供が開始されることとなりましたの

で、ご報告させていただきます。

人口減少・少子高齢化による労働力減少が現実となりつつある中、本市においても住民サービスの水準を維持するため、デジタル化への対応が重要な課題となっています。

特に 2020 年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民生活や都市機能においても、新しい生活様式に応じた ICT・デジタル技術の活用、DX の推進が急務となりました。

こういった状況にも関わらず、平成 17 年に合併した 12 市町村の中で、唯一、インターネットの光ブロードバンドサービスが提供されていなかったのが関前地区でした。

ご存じのとおり、インターネットを含めた通信サービスは民間通信事業者により提供されています。そのため、地域によっては地形や採算などの都合でサービス提供が難しいことがあります。しかし、住民の安心安全かつ文化的な暮らしを守る行政の立場から、関前地区への情報インフラの敷設は欠かせないものです。

また、移住を希望される方にとっても、島で自然に囲まれた環境で仕事をするために、高速インターネット回線の有無は大きな問題であり、地域からも切実なご要望をいただいております。

こうした方々の声に耳を傾け、私が市長就任以来、国や通信事業者と協議を重ね続けた結果、このたびようやく、関前地区への

高速インターネットサービスの提供を実現することができました。

9月29日に、満を持してサービス開始したところです。

本日はサービス開始にご協力をいただいた西日本電信電話株式会社様を代表して中山様と千崎様にご出席いただいております。

その他、ご尽力いただいた関係各位に、この場で厚くお礼申し上げます。

2 朝倉小学校区通学路の危険箇所の見える化

また、この機会に、インターネットを活用した今治市の新しいサービスなど、スマートシティ今治の推進についてもご紹介いたします。

ひとつは、朝倉小学校区の通学路危険箇所の「見える化」についてです。

朝倉小学校区では今年6月、小学生が車にはねられる痛ましい事故がありました。事故の再発を防ぐため、道路設備の改修などを進めるのと併せ、校区内の通学路の危険な場所を調べて地図にし、教師や保護者、地域の皆さんで共有して、どこが危ないのか

認識しておく取組を進めておりました。

地図の作成にあたっては、今年8月に今治市と連携協定を結んだ株式会社ジザイめっけ社の提供する、地域情報アプリ「めっけ」を利用しております。

教師や保護者、地域の皆さんの持つタブレットやスマホから、簡単な操作で、地図と写真により危険な場所が確認できます。

まずは取り急ぎ朝倉小学校区から始めますが、より良い活用方法などを研究し、内容を充実させながら、ほかの小中学校区にも展開していく予定です。

3 「今治てのひら市役所」 利用開始

もう一つは、「今治てのひら市役所」の開設についてです。

本日10月3日、さまざまな手続きをスマートフォンやご自宅のパソコンから行うことのできる電子申請システム「今治てのひら市役所」がオープンしました。

戸籍関係証明書や、所得課税証明書の交付申請など、新たに11種類の手続きがオンラインで可能となりました。

こちら、市民の皆様のニーズを踏まえて、順次、対象の手続きを増やしてまいります。

以上3件の詳細については、のちほど担当から詳しくご説明いたします。

4 第2回モルックジャパンオープン開催

事前にお知らせした項目にはございませんでしたが、大変うれしいニュースが飛び込んでまいりましたので、この場で発表させていただきます。

来る令和6年6月1日から2日にかけて、第2回モルックジャパンオープンが、今治市スポーツパークで開催されることとなりました。

モルックは、フィンランド発祥の投てきスポーツです。

まだなじみのない競技ですので、モルックとはどんなものか、まずはこちらの動画をご覧ください。

(動画上映)

このとおり、老若男女問わず気軽にできるスポーツであることから、近年人気急上昇しています。2018年には1,000人に満たなかった競技人口が、現在では10,000人を超え、なお増加中です。

今治市では、この魅力あるコンテンツを活かすべく、講習会

の実施や軽スポーツ大会の競技種目に採用するなど、モルックの普及推進を行ってきましたが、この度、より一層の普及拡大や今治スポーツパークの賑わい創造、今治市の活性化を目的にジャパンオープンの開催誘致に取り組み、この度の実現となりました。

ジャパンオープンは、モルック日本大会に並ぶ公式大会です。今年度石川県金沢市で開催された第1回大会では、大会期間中約240チーム、1200名が参加、熱い戦いが繰り広げられましたが、第2回今治大会においても同程度の参加が見込まれます。

また、試合と合わせて、モルック体験教室ほか様々なおもてなしメニューを用意し、選手や観客の皆さんが十二分に楽しんでいただけるようなイベントに仕上げる予定ですので、ぜひスポーツパークに足をお運びいただき、モルックの魅力を体験すると共に、今治の魅力も併せて楽しんでいただきたいと思います。

また、今治大会の開催を機に、継続的な大会の実施やモルック競技人口の拡大、スポーツパーク周辺の賑わい創造により一層取り組んでまいりたいと思います。

私からの発表事項は以上でございます。

NTT 西日本 四国支店 副支店長

中山敦広様のご発言内容

NTT 西日本四国支店の中山と申します。

この度は、このような場に同席させていただき誠にありがとうございます。
ございます。

今治市様には日頃より弊社電気通信サービスをご利用いただくなど、大変懇意にさせていただいております。

先ほど徳永市長より発表されました、「関前地区高速インターネット回線開通」事業ですが、今治市様が住民の安心安全を守る行政の立場から重要事業と位置付け、実現に向けた協議を重ねた結果、昨年度、弊社 NTT 西日本を実施事業者として選定いただき、光ファイバー整備工事と、サービス開始に向けた住民説明会を実施させていただきました。

特に住民説明会においては、多くの住民が参加され、期待の高さを肌で感じました。

なお、本事業の工期中は、関前地区の皆様及び、今治市職員の皆様には、本事業を進めるにあたり多大なるご理解、ご協力をいただきました。

この場をお借りして、御礼申し上げます。

光ブロードバンド基盤は、様々な地域活性化への取り組みや、住民サービスの DX を推進する上で、重要なインフラとなっております。

今回の整備により、関前地区の皆様には、日常生活やお仕事に、便利で快適なインターネット環境をご利用いただけると共に、今治市様における住民サービス向上、移住促進等にも寄与できるものと考えております。

私共 NTT 西日本としましても、徳永市長が掲げられている、「デジタル化の加速で市民サービスの向上、超スマート自治体へ体質変革」を実現すべく、今回整備した光基盤を活用し、様々な課題を解決する ICT ソリューションのご提案など、今治市の発展に微力ながら貢献できればと考えております。

最後になりますが、関前地区の皆様ならびに今治市様の益々のご繁栄を心より祈念し、弊社からの挨拶とさせていただきます。

担当者（未来デジタル課）の説明内容

1 関前地区高速インターネット回線開通

まず、関前地区への高速インターネット回線の開通についてご説明いたします。

先ほど市長からの説明にもありましたとおり、今治市関前地区（旧関前村）は、採算の問題などにより、民間通信事業者だけでは今後もインターネットサービスの提供が見込めない状態でした。

通信環境を原因とする情報格差を解消するため、このたび高速無線通信環境と、伝送用専用設備を整備しました。具体的には、国の補助事業等を活用し、光ファイバ等の超高速通信基盤が未整備な地域に、ブロードバンドサービス提供のための設備を整備する事業者に対し、必要な経費の一部を助成するものです。

今回の高速回線整備にかかる事業費総額は1億1900万円で、うち今治市の助成額は9200万円です。

事業主体は西日本電信電話株式会社四国支店様、事業内容は光ファイバケーブル等の整備です。

対象となるのは、関前地区の 184 世帯です。整備エリアは、地図のマルで囲んだ区域内です。

みなさまの住居の、すぐ近くまでインターネット回線が敷設されました。

9 月 29 日よりサービス開始しておりますので、各世帯にてサービス事業者とご契約いただくことで、高速インターネットの利用が可能となっております。

2 朝倉小学校区通学路の危険箇所の「見える化」

続いて、朝倉小学校区通学路の危険箇所の「見える化」についてご説明いたします。

朝倉地区では、今年 6 月、小学 2 年生の児童が被害に遭う交通事故が発生いたしました。

事故再発防止のため、事故現場付近への交通安全看板の設置・修繕や、道路への注意喚起のペイント等を行う一方で、交通安全対策として、朝倉小学校の教員が、校区内のその他の危険箇所などについても調査を行い、交通事故の危険がある場所や、転落のおそれがある池など、全 17 か所を地図にとりまとめ、10 月 2 日に公開いたしました。

この地図を作成するにあたっては、8月に今治市と連携協定を締結したジザイめっけ社の地域情報アプリ「めっけ」を活用いたしました。今治市役所での「めっけ」の活用事例としては、8月に公開したAEDマップに引き続き5例目です。教員、保護者、地域の方での情報共有に活かすとともに、児童の交通安全学習にも活用する予定です。

さらに今後は、地域や警察からの情報提供を受けて、それを基に地図に反映させてまいります。

なお、今回は朝倉地区でのスモールスタートですが、実際の運用の中で教員や保護者などの意見を反映させ、ブラッシュアップした形で市内小中学校への横展開を予定しています。

この危険箇所マップは、お手持ちのスマートフォンに「めっけ」アプリをインストールしていただくことで、どなたでも無料でご利用いただけます。

アプリをインストールしなくても、朝倉小学校のHPからリストの形式でご確認いただけますので、安全確認を兼ね、ぜひ一度ご覧ください。

3「今治でのひら市役所」利用開始

最後に、「今治でのひら市役所」の利用開始についてご説明い

たします。

本日 10 月 3 日より、電子申請システム「今治てのひら市役所」がオープンしました。

スマートフォンやパソコンから、証明書の交付申請などの手続きと手数料の支払いが可能になります。

市役所 HP もしくは、今治市公式 LINE のリッチメニュー画面からアクセスしていただけます。

これまでも、がん健診やコロナウイルスワクチン予防接種の申込など、一部の手続きはオンラインで可能でしたが、今回の「今治てのひら市役所」の開設により、新たに戸籍謄本や、課税証明書、納税証明書の交付申請、消防署の見学申し込みなど、11 種類がスマホからお手続き可能になりました。

オンラインで可能な手続きの種類は、今後、市民のニーズを踏まえて増やしてまいります。

「今治てのひら市役所」の特徴は、クレジットカードまたは PayPay によるキャッシュレス決済での料金支払いができることと、マイナンバーカードを用いた本人確認ができることです。

たとえば、これまで遠方から納税証明書などを取り寄せようとする場合、郵送で申請書をお送りいただく必要がありまし

た。

郵送申請の場合、手数料は郵便局の定額小為替でのお支払いをお願いしておりますので、証明書の発行手数料に加え、往復の郵送料と、定額小為替の購入手数料が必要となります。

しかしオンライン申請では、片道の郵送料と、証明書の交付手数料のみのご負担で、証明書を取り寄せていただくことができますので、費用面での負担が軽減されます。

また、本人確認が必要な場合は運転免許証のコピーなどを申請書に同封いただくこともございましたが、オンライン申請ではマイナンバーカードによる公的個人認証により、スマホにマイナンバーカードをかざすことで、本人からの申請であることを確認いたします。

なお、申請書の内容確認や決済確認、証明書の発送作業などにお時間をいただくため、申請から交付までには、郵送申請と同様、一定の日数がかかりますことをご了承ください。

詳しい手続き方法は、手続きにより異なりますので、申請画面をご確認ください。

以上で説明を終わります。